

Newsletter

日本養護教諭養成大学協議会

Vol.39 2019.07.10

日本養護教諭養成大学協議会
ニューズレターVol.39
会長 荒木田美香子 (国際医療福祉大学)

★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 目次 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

協議会会長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	新規加盟大学の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	4、5
各種委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	協議会活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
総会・養成教育フォーラムのご案内・・・・・	3	事務局・会計からのお知らせ・・・・・・・・	6
養成教育セミナーのご案内・・・・・・・・・・	3	編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6



会長挨拶

会長 荒木田美香子
(国際医療福祉大学)

2020年から小学校で新学習指導要領が実施されます。日本養護教諭養成大学協議会は2019年度の新規加入校（新見公立大学・森ノ宮医療大学）を迎えることが出来ました。また令和という新しい時代にさらに養成教育の充実につながる活動を展開していきたいと思っております。

本会は、広報・渉外委員会が会員校への情報提供を行い、FD検討委員会は教職実践演習における会員校の現状とニーズ調査結果をもとに「実践力を高める演習の進め方」を検討しています。養成制度検討委員会・カリキュラム検討委員会（合同）では「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」の構築に向けて取り組んでいます。これらの活動の次に来るものとして（個人的な見解ではありますが）、本会の役割として、「養護教諭養成教育の質評価の指標」作成が必要になるのではないかと考えています。

文部科学省中央教育審議会は、2018年11月に「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」を発表しました。この答申の趣旨は、日本の人口が減少し、予測不可能な時代を生きる人材育成を担う高等教育が目指すべき姿を示すものです。

その中に「設置基準の見直し」（定員管理、教育手法、設置設備等について、時代の変化や情報技術、教育研究の進展などを踏まえた抜本的な見直し）、「認証評価制度の充実」といった記載があります。

これらの内容は、高等教育の質の確保に関するもののようです。高等教育の質の確保・評価については、医学・歯学・薬学・看護学・リハビリテーション科学では既に分野別認証評価制度を構築し、実施しています。教育学の分野別評価がどのような方向性に進むのかわかりませんが、これまでの経験から考えますと養護教諭養成教育の評価指標設定などは一般教員のものに一步遅れて提示されるのが常のように思います。それはそれとして、本会では「養護教諭養成教育の質の自己評価指標」を作成することは可能です。本会が「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」を公表することができれば、その教育をどれぐらい実施できているのか（教育内容の評価）、これまでも問題になってきましたが、養護教諭経験のある専任教員が養護概説を担当しているのか、看護学を教える教員の要件は何か等（教育体制の評価）、養護実習の指導状況、アクティブラーニングの実施状況（教育方法の評価）等の評価指標を出すことができます。また、それらの評価指標について、本協議会が行っている基本調査との兼ね合いを考慮しながら、毎年調査し、全体結果を会員校に提供するということも可能になります。この活動については、今後、役員会の中で検討していく予定ですが、高等教育を担う機関として、重要な事項ではないかと考えています。

各種委員会報告

「教育課程（カリキュラム）検討委員会」 「養成制度（法制度）検討委員会」

活動計画

委員長 大川尚子（京都女子大学）

教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会では、一昨年度、養護教諭養成大学の養護専門科目の教育課程の現状を把握し、今後の養成カリキュラムの充実と免許法改正に向けた基礎資料とするため、各大学の養成カリキュラムの実態調査を実施しました。

今期（2018～2020年度）の検討委員会では、これまでの教育課程（カリキュラム）検討委員会の成果と前期の調査結果を生かして、各大学の養成教育へ生かすことのできる本協議会独自の「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」を作成しています。

そのために、昨年度のセミナーでは、協議会が実施した「養護教諭養成大学における教育課程の現状に関する調査」の結果を詳細に報告し、すでに日本教育大学協会や日本看護系大学協議会養護教諭養成教育検討委員会が作成している「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」を紹介していただきました。

また、分科会において、「保健室経営の理論及び方法」「健康教育の理論及び方法」「小児疾病論」の内容について、グループワークを行い各大学の開講状況や工夫している内容を交流し、本協議会の「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」の構築に向けて検討しました。

今年度の養成教育セミナーは、日本養護教諭養成大学協議会が作成した「養護教諭養成課程コアカリキュラム（養大協版）2020」について説明し、そのコアカリキュラムをもとにグループワークを実施したいと考えております。

そのために、「養護教諭養成課程コアカリキュラム（養大協版）2020」についてのご意見をお聞かせいただきたいと考えています。7月中旬に事務局からご依頼させていただきますので、ぜひともご協力くださいますようよろしくお願いいたします。会員校のご意見をふまえて、養成教育セミナー及び総会で再度提案させていただきますと考えています。

「FD検討委員会」 活動計画

委員長 松枝睦美（岡山大学）

FD検討委員会は、養護教諭養成における教職実践演習の計画とその評価方法モデルを提案したいと考え、活動をすすめています。まず初年度である2018年度は「教職実践演習（養護教諭）」における現状とニーズを把握するために調査を実施させていただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

本調査結果より、現在実施している「実践的指導力を身につけさせるための方法と内容」の回答では、方法として、グループワーク、PBL、ケースメソッド、シミュレーション、ロールプレイ、模擬授業等がありました。内容として

「保健室経営」「健康課題への支援」「特別な支援が必要な子どもへの対応」「健康教育・保健指導」「救急処置活動」「危機管理」等の演習でした。ただし、具体的な進め方には負担感もあり、授業計画や評価規準様式など、演習の内容を充実させるための教材やテキストの提案への要望がありました。

つぎに、今後取り組みたい演習としては「危機管理体制」「災害時の連携」「個別支援の連携」「医療機関・地域連携」等、連携に関する内容でした。

実施評価に関しては、自己評価に併せて相互評価や他者評価に取り組む会員校もありましたが、取り組みたいが難しいとの回答も寄せられました。

そこで、今年度の活動計画としては、まず、要望に即してそれぞれの養成大学における到達目標等に活用可能な演習の実施から評価をパッケージとして検討し作成します。次に、会員校に試用いただき意見を集約し必要に応じて改善を行います。さらに、「学生が身に付けた資質能力の最終確認」のための多面的な評価方法の検討をすすめる予定です。

2020年度は「取り組みたい内容」としてニーズの高い「連携」に関する演習立案に関する養成教育セミナーの実施計画をすすめていきたいと考えております。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

日本養護教諭養成大学協議会 2019年度総会および養成教育 フォーラムのご案内

2019年度 総会及び養成教育フォーラム

- ◆ 日時：2019年9月10日（火）
10：00～16：00
 - ◆ 場所：きゅりあん・1階小ホール
（東京都品川区東大井5-18-1）
 - ◆ 内容：
 - 午前中 総会/委員会報告
 - 午後 養成教育フォーラム
「養成大学として育成指標を
どのように活用するか（仮）」
1. 基調講演 1
文部科学省初等中等教育局
健康教育・食育課 担当官
 2. 基調講演 2
全国養護教諭連絡協議会
 3. 埼玉県の状況
埼玉県教育委員会・女子栄養大学
 4. 横浜市の状況
横浜市教育委員会
- * 内容及び発表者は変更する可能性があります



●交通のご案内 JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線……大井町駅 徒歩約1分
 ※駐車場は商業施設との共用のため、土・日・祝日は特に混雑します。なるべく電車・バスをご利用ください。
 ※会館周辺道路は狭いため、近隣にご迷惑となりますので駐車できません。ご注意ください。
 ※駐車料金 30分200円（利用時間 8:30～21:30）

養成教育セミナーの ご案内

2019年度 養成教育セミナー

- 日時：2019年9月9日（月曜日）
13：00～16：50
- 場所：きゅりあん 1階 小ホール
東京都品川区東大井5-18-1
- 内容：日本養護教諭養成大学協議会版
コアカリキュラムの作成に向けて
- 現在の進捗状況を報告後、グループ
に分かれて、検討を行う予定です。
なお、グループ分け等、詳細につきましては、
コアカリキュラムのアンケートをメール配信する
ときに一緒にご案内させていただきます。

○情報交換会のご案内

養成教育セミナーの後は、養護教諭養成に係る教員が全国から集い、情報を交換できる場として、情報交換会を開催します。

それぞれの大学が抱える養成教育の現代的な課題を交流できる機会となります。皆様、是非ご参加ください。

参加受付：事前申し込み

会費：5,000円（当日支払い）

会場：「きゅりあん6階」

担当：池添志乃・竹鼻ゆかり

2018年度からの 新規加盟大学の紹介

新見公立大学

郷木 義子

新見公立大学は岡山県北西部に位置し、自然に恵まれた人口3万人弱の新見市にあります。「誠実、夢、人間愛」を建学の理念に1980年に新見女子短期大学として開学以来、小規模大学の特性を活かし、教員と学生との距離が近い血の通う教育を基本に、質の高い教育カリキュラムの構築と改革を繰り返しつつ、看護、保育、介護の専門職人材を輩出してきました。

2019年より2010年に4年制化した看護学科を基盤として短期大学の2学科を4年制に改組し健康科学部1学部3学科（健康保育、地域福祉、看護）体制で専門職としての知識・技能・人間力を磨く学びのスタイルを深化させています。これを機にこれまで懸案だった看護学科での養護教諭1種免許の養成課程を立ち上げました。これまでも養護教諭として学校現場で活躍している卒業生がいますが、ほとんどの卒業生が本学を卒業後に他大学の別科等に進学し、養護教諭1種免許を取得し現場に出ていました。このような卒業生の思いや、地域に根差した公立大学という特色を生かしながら入学してくる学生たちの選択肢を広げることに繋げていくことができます。看護学科の定員は80名ですが、このうち10名の学生が選択により履修することができます。養護実習は新見市教育委員会との連携のもと、新見市内の小・中学校で行うことを快諾していただいています。養護実習だけでなく学習支援、保健室ボランティア、地域ボランティア等、教育委員会や学校現場の先生方、地域の人たちとの連携体制もでき始めています。忙しい看護のカリキュラムの中での養護教諭養成は厳しい面もありますが、看護師資格と併せ持つことの意義は大きいと考えています。

4年後にどのような1期生を学校現場に送り出すことができるのか模索しながら担当者一同頑張っていきますのでよろしくお願いします。



筑波大学

出口 奈緒子

筑波大学 医学群 看護学類では、学内選抜の後に指定の科目を履修すると養護教諭一種免許を取得することができます。本学類は2002年に設置され、2018年度までに177人が養護教諭一種免許を取得しています。養護教諭選択者は卒業までに最低146単位を修得します。

カリキュラムは基礎科目、専門基礎科目、専門科目よりなります。基礎科目では、学生は教職科目の授業のために南北約4km、東西約1kmにわたる広大なキャンパスを自転車で移動して教育学や心理学、障害学の授業を受講します。専門基礎科目では「こころと行動の科学」「人間と生命科学」「生活支援科学」を3つの柱として、多様な人間の価値観を理解し、看護学理論を構成する主要な概念として「人間」「健康」「生活」「看護」を学びます。臨床心理士による教育心理学やカウンセリング論は必修で、特に心理的なケアを必要とする子どもとその家族、発達障害の傾向のある子どもとその家族への対応の実際に力を入れています。専門科目では、養護教諭選択者だけが履修できる授業があります。その他、学類の先進的な取り組みとして看護の探求、国際保健学などを学習するとともに、チーム医療の体験として医学、医療科学、薬学などの学生と医療チームワーク演習なども実施します。

学生は、限られた時間の中で、授業時間以外にもゼミを実施したり、学校にボランティアに行ったりして努力し、全国各地に就職しています。看護学を基礎とした学類教育を通じて、多様な価値観を理解できる養護教諭としての活躍を期待しています。

日本赤十字秋田看護大学

小笹 典子

本学は赤十字の「人道：Humanity」の理念を基調とし、災害看護をはじめ「生きる」を支えるスペシャリストの養成が特色で、看護師養成123年の歴史ある伝統校です。秋田県には、養護教諭を養成する大学がないために、希望者は県外で学ばなければなりません。そこで、本学に教職課程を立ち上げて、看護師資格と養護教諭1種免許を同時に取得できるようにしました。赤十字の看護6大学の中で、養護教諭の養成は本学だけです。2018年度からスタートしましたので第1期生は現在2年生です。選考の結果10名程度が免許を取得することになり、来年度の教育実習の準備に追われています。

常磐大学

猿田 和美

常磐大学は、茨城県水戸市にあります。看護学部看護学科は2018年4月に開設され、「地域に根ざし、人々の健康課題を解決する看護職の養成」を目指しております。本学の養護教諭養成では、1学年の定員が80名の内、選抜制で10名を養成しています。少数精鋭で、きめ細やかな指導をしています。本学には教育学科があり、教員養成をしていることから、教職に関する授業も充実しており、教職センターも設置されているため、教員養成に関する学生への支援が行き届いています。養護教諭養成では、2年生からゼミを実施し、養護教諭を希望している学生が早い段階から養護教諭としての意識を持つことができるようにしています。

福井医療大学

南 桂子

本学は、開学3年目で「新田塚医療福祉センター」が母体となっています。病院やクリニック、介護施設など多くの医療施設を有する事で、これらの関連施設で、医療・福祉の現場を身近に感じながら学べる事が特徴です。リハビリテーション学科（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）と看護学科の2コースでは、それぞれ専門的な知識・技術を修得できる教育体制を整えており、専門分野を学ぶ事で様々な資格取得ができます。2017年度に短期大学から大学に移行し、看護学科で養護教諭1種免許が取得できるようになりました。

養護教諭1種免許取得のために看護科目と教職科目、養護科目を1年生から履修することが可能で、完成年度に向けて4名の専任教員が学生の学びをサポートしています。

一期生は、70名のうち17名が養護教諭になることを目指して履修を続けており、学生の8～9割は福井県出身です。

今後も、地域に貢献できることが期待されている新しい大学です。

淑徳大学

齊藤理砂子

本学の建学精神は「Together with him（彼のためにではなく、彼と共に）」であり、いのちあるものすべてとの共生を目指しています。この理念に則り、本学は総合福祉学部教育福祉学科健康教育コースを開設し、養護教諭の養成を行っています。今年度で早や開講9年目を迎え、多くの卒業生たちが養護教諭として、日本人学校を含む様々な学校で活躍しています。

本学での教員養成の特徴は、教育と児童福祉の両面から、子どもの心と身体の成長を理解できるようカリキュラムが組まれている点にあります。さらに本コースにおける養護教諭の養成では、養護教諭一種免許状に加え、認定心理士の資格や中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）が取得できます。

そのため、本学ではスポーツ心理学やスポーツ社会学、運動学等を学ぶ機会を設けてあり、運動面からも、子どもの健やかな成長を支援する知識や技能、健康的な環境づくりを学ぶことができます。現在、子どもの健康課題が多様化・複雑化していますが、それに効果的に対応するには様々な分野の知識があると心強いものです。

また、昨今チームとしての学校づくりが重要視されており、養護教諭は多職種連携の要たる「コーディネーター」の役割も求められています。その要求に応えるため、学生の主体的・自律的な他職種との関わりを尊重しながら、協働的実践力を大切にした養護教諭の養成をしています。

香川大学

尾崎 典子

香川大学医学部看護学科では、2008年より養護教諭の養成をしています。1年次に希望調査を行い、養護教諭課程を選択した学生は、教育学部と医学部で開設される教職課程を履修することにより、養護教諭1種の免許を取得することができます。総合大学の利点を生かし、養護実習は、主に教育学部附属の学校で行っています。看護学科の入学定員は60名で、毎年約10名ほどが養護教諭課程を選択しています。養成の歴史はまだ浅いですが、現在、西日本を中心に約40名が養護教諭・養護助教諭として活躍しています。

協議会活動報告

【2018年度 第6回役員会】

日時：2019年3月17日（日）10:30-13:30
 場所：高知工科大学東京サテライト
 出席：荒木田、池添、遠藤、大川、鎌塚、下村、高橋、竹鼻、津島、松枝（50音順、敬称略）
 司会：荒木田 記録：竹中

主な審議・報告事項

- ①2018年度会員登録及び会費請求書の確認
- ②セミナー・フォーラムの内容についての検討
- ③各都道府県、政令都市の育成指標の調査について
- ④委員会活動報告（カリキュラム、養成制度、FD委員会、広報・渉外委員会）
- ⑤2018年度決算報告の経過報告
- ⑥養護教諭関連団体連絡会報告

【2019年度 第1回役員会】

日時：2019年6月9日（日）12:00-16:00
 場所：国際医療大学赤坂キャンパス
 出席：荒木田、池添、遠藤、大川、鎌塚、下村、高橋、竹鼻、津島、松枝（50音順、敬称略）
 司会：荒木田 記録：竹中

主な審議事項

- ①2018年度活動報告書について
- ②2019年度養成教育フォーラム計画についての検討
- ③2019年度総会・養成教育フォーラム・養成教育セミナーの役割分担・時程
- ④会則の改正について
- ⑤2019年度養成教育セミナーについて
- ⑥各委員会活動報告
養成制度・カリキュラム
 6月のカリキュラム検討委員会で検討したコアカリキュラムを7月に会員校に提示、Web調査で意見を集約することが承認された。
FD検討委員会
 「教職実践演習（養護教諭）について」のアンケート調査結果の報告
広報・渉外委員会
 ニュースレター39号について
- ⑦会員校等の状況
- ⑧養護教諭関係団体連絡会報告
- ⑨2018年決算報告、2019年度修正予算についての検討

(庶務：鎌塚優子)

編集後記

今号は昨年度からの新規加盟校7校の紹介文を掲載しています。新たなお仲間が増え、本会としては嬉しい限りです。（竹鼻、池添）

事務局からのお知らせ

◎御礼

評議員の登録及び評議員登録・基本調査は全会員校の登録が完了しました。ご協力に感謝申し上げます。

なお、今後、代表評議員様にメールで連絡させていただきますので、その際には、学内での周知をどうぞよろしくお願いいたします。

◎総会（9月9日）及び養成教育セミナー及び情報交換会（9月10日）の出席届の提出をお願いいたします。

案内文書をこのメールに同封しております。申し込み締切は8月15日までとなります。なお、総会の議決権は会費を7月31日までに納入された学校となりますので、ご確認をお願いいたします。

なお、できる限りWebサイトからの提出をお願いいたします。



申し込みURL とQRコード

<https://jp.surveymonkey.com/r/sokai2019>

会計から

4月以来、多くの会員校から会費を納入いただき、誠にありがとうございました。6月14日時点ですでに100校から納入いただいています。未だ納入されていない会員校は、7月末日までにお納め下さい。ご協力よろしくお願いいたします。皆様の貴重な会費は、今年度も節約しながら有効に使わせていただきます。

会計担当者として、皆様に改めてお願いがあります。会費を振り込んでいただく際には、是非とも「会員番号 大学名」と記載して下さい。残念ながら、会員番号の記載がない大学や「ガッコウホウジン」などの記載によって、どの大学か特定できないケースが時々あります。通帳には、カタカナで12文字までしか印字されないの、法人名は省いて大学名のみを記載して下さい。大学等の経理担当職員が振り込む場合は、会員の皆様から一言お伝えいただくと助かります。2019年度も引き続きよろしくお願いいたします。 会計担当：下村淳子

【事務局】国際医療福祉大学
 TEL&FAX：（事務局）
 Mail：yogojimu@j-yogo.jp